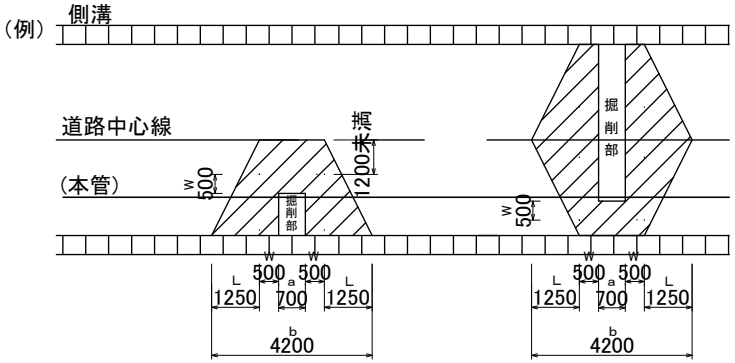
道路舗装復旧平面図

基本事項

・横断方向の掘削影響部が道路中心線を越えた場合、または車道幅員4.2m未満の場合は原則全幅員復旧とする。
・2箇所以上の掘削で、掘削部の間隔が5.0m以下の場合、道路管理者と協議すること。
・掘削影響部は縦横断方向とも0.5mを基本とする。
・掘削影響部から道路中心線までが1.2m未満の場合は、道路中心線までを復旧範囲とする。

①横断占用

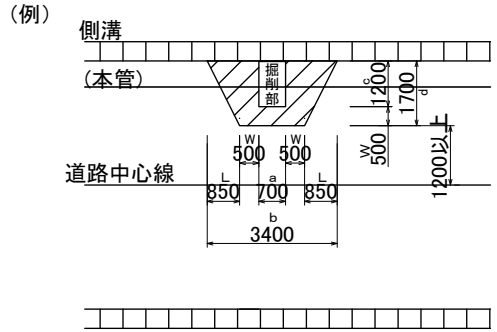


W＝0.5m(掘削影響部)
a＝0.7m(掘削幅)

L＝d/2(L:d=1:2)
＝2.5/2
＝1.25(m)

b＝2L+2W+a
＝1.25×2+0.5×2+0.7
＝4.2(m)

②小穴占用（掘削影響部から道路中心線および側溝までが1.2m以上の場合に適用）



W＝0.5m(掘削影響部)
a＝0.7m(掘削幅)
c＝1.2m(掘削部横断延長)

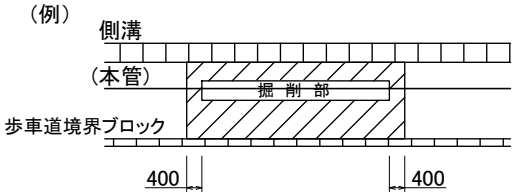
d＝W+c
＝0.5+1.2
＝1.7(m)

L＝d/2(L:d=1:2)
＝1.7/2
＝0.85(m)

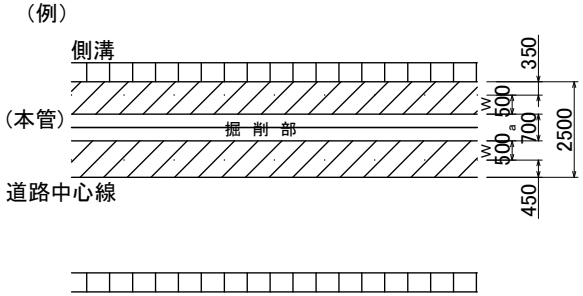
b＝2L+2W+a
＝0.7+2×0.5+2×0.85
＝3.4(m)

③歩道部

・縦断方向の影響範囲は0.4mとし、全幅復旧とする。



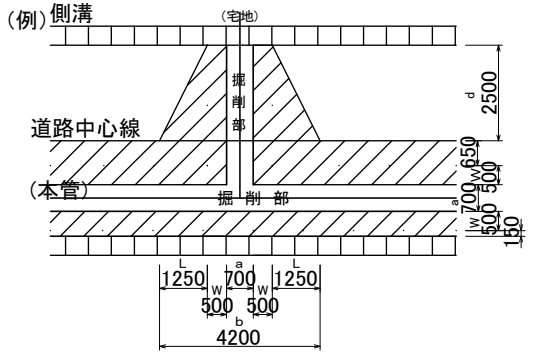
④縦断占用



W＝0.5m(掘削影響部)
a＝0.7m(掘削幅)

・縦断占用の場合、側溝から道路中心線まで復旧することを基本とし、掘削影響部が道路中心線を超える場合は全幅員復旧とする。

⑤縦断占用と連続する横断占用の復旧範囲

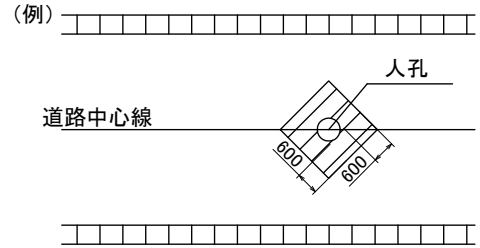


W＝0.5m(掘削影響部)
a＝0.7m(掘削幅)

L＝d/2(L:d=1:2)
＝2.5/2
＝1.25(m)

b＝2L+2W+a
＝1.25×2+0.5×2+0.7
＝4.2(m)

⑥人孔周りの復旧範囲



・高さ調整など軽微なものの場合のみ適用。
・掘削が深い場合はこの例にはならない。

※道路の復旧条件

・仮舗装の道路、その他道路管理者が認めた場合はこの限りでない。
・「道路舗装復旧平面図」に定められていない場合は道路管理者と協議すること。
・既設舗装目地を考慮（復旧計画線から1.0mの範囲）し舗装復旧範囲とすること。
・区画整理区域は、別途協議すること。
・施工完了後、右記の印を付すこと。

＜本復旧箇所の明示＞

電気通信事業者	Ⓣ
電気事業者	Ⓔ
水道業者	Ⓦ
下水道業者	Ⓓ
ガス事業者	Ⓖ